

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	金沢大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	カナザワダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	「環境技術企業研修Ⅰ」「環境技術企業研修Ⅱ」
	学部・研究科等名	大学院自然科学研究科環境技術国際コース
	担当教職員名・役職	池本 良子・教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	14
	受入企業等数	8
	受入企業等名	記載しない。(企業の了解を得てないため。)
	インターンシップの分類	4.他県をまたぐ広域インターンシップ,6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
要素②	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業に赴いて日本人学生と留学生の混成ペアで、特定の研究テーマ・技術的課題について、就業体験を行い、企業側研修担当者・本学教員とともに連携して課題解決を行う。
	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	博士前期課程1～2年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	環境技術企業研修Ⅰ1単位Ⅱ2単位
要素③	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学院自然科学研究科博士前期課程環境技術国際コース1～2年生を対象に、夏期休業中に授業科目「環境技術企業研修Ⅰ」又は「環境技術企業研修Ⅱ」として日本人学生と留学生の混成ペアで、派遣型インターンシップ(大学で実施するオリエンテーションなどの準備期間を含む50時間以上)を実施している。
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	オリエンテーション(1回)、安全管理・ヒューマンエラー演習(2回)、知的財産・機密保持に関する講義(1回)等を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	派遣型インターンシップ中に、その進行状況や問題点とその解決方法を、毎週1回提出される週間実績報告書を用いて振り返りを行っている。また、本学教員や在学生のほか、受入企業側研修担当者を招いて成果報告会を実施している。
要素④	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
要素⑤	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの実施後に「点検・評価アンケート」を行い、得られた効果について確認を行っている。
	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している,2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5-10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間7-12日間(うちインターンシップ実施期間5-10日間)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業等にて5-10日間のインターンシップを行っている。	

要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前にインターンシップの意義や目的を受入企業に御理解いただいた上で、企業から学生が参加する派遣型インターンシップのための課題提案をいただいている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/etic/cal/
問い合わせ先	大学等名	金沢大学
	担当部署名	理工系事務部学生課大学院係
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	076-234-6817
	メールアドレス	eticku@adm.kanazawa-u.ac.jp